

※「●」は前回までの会議で委員から出された意見。「・」は事務局の意見。

論 点	1. 学びの内容について		2. 学びの提供方法について	3. 学びを活動へとつなぎ、活動の継続を支援する仕組みについて		4. 連携について	
	①求められているのはどのような人材か？	②求められる人材を育てる学びの内容や方法	①より多くの人が講座などを受講しやすくするためのアプローチ方法	①講座などの修了生が学習成果を活用して活動するための仕組み	②活動へのモチベーション維持や活動継続を支援するための取り組み	①生涯学習センターとコミュニティセンターでの学びと学習成果の活用を連携させるための工夫	②学びの提供や学習成果の活用における庁内各課や関係機関、学校、事業者との連携
論 点 に 沿 っ て 整 理 し た 意 見	・コミュニティ活動の目的（地域住民の交流、地域課題の解決など）を理解している人 ・コミュニティ活動に対して共感し、自分事としてとらえている人 ・コミュニティセンターの場所を知っている人 ・コミュニティセンターに来たことのある人 ・コミュニティ活動の意義や内容などについて、コミュニティからの情報を受け取る人	●講座の目的を明確にし、受講後、どのような活動につながるか見通しを持つことができるようにすることが大切 ●講座の内容が具体的な方が、参加したいと思うのではないか ●コミュニティまつりに来た人に意見を聞く ●地域の歴史を学ぶために高齢者に話を聞いたり、まち歩きを行ったりする（防災にもつながる） ・定量的データや定性的情報などから、地域の現状について学ぶ ・定量的データや定性的情報の収集方法を学ぶ ・地域課題やコミュニティの未来について地域住民が対話する場を持つ ・対話を促進するためのファシリテーターを養成する ・コミュニティセンターや小学校をコースに入れたまち歩き	・講座の対象者を明確にし、対象者に合わせた周知方法や、ライフスタイルを考慮した提供方法とする（転入手続きの際にチラシを配付、託児の用意、オンラインの活用など） ・個人の興味関心に応じて参加できる講座や活動を入り口として、コミュニティ活動にも関心を持ってもらえるようなつながりづくりや学びの機会の提供を行う	●講座で学んだことを生かせる場や機会を設ける（卒業式に使う終了証書の名前を書いていただくなど） ・講座で学んだ人が、別の講座のサポーターや企画運営を行う制度を設ける	●ポイント制の導入	・②の学びについて、コミュニティの中でリードする人（例えば、生涯学習推進員）を対象に、生涯学習センターで学びの機会を設ける。生涯学習センターで学んだ知識やスキルをコミュニティに持ち帰って、コミュニティ活動に関わっている人を対象に生かす ・コミュニティセンターに行ったことのない人が受講する学びの機会（例えば、生涯学習センターの講座）の中で、コミュニティの活動内容や、気軽にコミュニティセンターを訪れる機会があることを周知する。	●学びについて、市と民間との役割分担が必要になるのではないか ●生涯学習課だけでなく、庁内で横串を刺した連携が必要 ・コミュニティを取り巻く団体などの情報発信・共有ツールを通して